

令和元年度 がん検診の精度管理調査結果

都道府県「がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査」

1. 目的

都道府県用チェックリストの遵守状況（都道府県が、市区町村や検診機関の体制や検診データを把握し、適切な精度管理を行っているか）を評価します。またこの調査を通じて、都道府県が自己点検を行うことも目的としています。

2. 調査対象年度

令和元年度の検診体制（令和元年度のがん検診ご担当者に求められている作業について、その遵守状況）を伺いました[※]。

※一部のチェックリスト項目は、平成 29 年度の精度管理指標数値の集計について聞いています。

その理由は、今年度ご担当者が分析できる最新の精度管理指標値が平成 29 年度分（2 年度前）だからです。

3. 評価方法、及び評価結果

チェックリスト

チェックリスト項目の右端欄●の項目の非遵守項目数（×の数）により評価を行いました。その結果、当県で定めた評価基準「非遵守項目数 A：0、B：1－17、C：18－35、D：36 以上、E：無回答」に適用すると、以下の結果となりました。

【評価結果】

	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
チェックリスト遵守 状況評価結果	C	D	—	—	C	D	C	—	C	D	D	D

※平成 28 年度に導入開始となった胃がん内視鏡検査は、都道府県によって実施状況が大きく異なるため、評価から除きます。

県全体の水準を引き上げるためには全市区町村の水準を上げることが必要で[※]、相応の経費を要するものもありますが、がん検診の精度の向上と均てん化（地域格差をなくすこと）のために、すべての市区町村での精度の底上げを目指して努力していきます。

※チェックリスト項目のうち、「受診者の把握」「要精検者の把握」などの項目は、各市町村の結果の足し合わせとなるため、一部の市区町村が把握できていないと都道府県としては把握できていないということになります。

4. チェックリストの調査結果

別添に回答一覧を掲載します。

都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会（各がん部会）の活動状況調査

本調査票は厚生労働省の「事業評価のためのチェックリスト（都道府県用）」の項目をベースに、厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）「がん検診の適切な把握法及び精度管理手法の開発に関する研究」班の協力を得て作成しました。

調査1 精度管理指標の把握状況に関する調査

1. 受診者の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 令和元年度の対象者数（推計を含む）を把握しましたか	×		×		×		×		×		×	
(2) 平成29年度の受診者数を把握しましたか	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
(2-1) 平成29年度の受診者数（率）を性別・年齢階級別に集計しましたか	×		×		×		×		×		×	
(2-2) 平成29年度の受診者数（率）を市区町村別に集計しましたか	○		○		○		○		○		○	
(2-3) 平成29年度の受診者数を検診機関別に集計しましたか	×		×		×		×		×		×	
(2-4) 平成29年度の受診者数を検診受診歴別 ^(注1) に集計しましたか	×		×		×		×		×		×	

2. 要精検率の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 平成29年度の要精検率を把握しましたか	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
(1-1) 平成29年度の要精検率を性別・年齢階級別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×
(1-2) 平成29年度の要精検率を市区町村別に集計しましたか	○		○		○		○		○		○	
(1-3) 平成29年度の要精検率を検診機関別に集計しましたか	○	×	○	×	○	×	○		○	×	○	×
(1-4) 平成29年度の要精検率を検診受診歴別 ^(注1) に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×

3. 精検受診率の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 平成29年度の精検受診率を把握しましたか	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
(1-1) 平成29年度の精検受診率を性別・年齢階級別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×
(1-2) 平成29年度の精検受診率を市区町村別に集計しましたか	○		○		○		○		○		○	
(1-3) 平成29年度の精検受診率を検診機関別に集計しましたか	○	×	○	×	○	×	○		○	×	○	×
(1-4) 平成29年度の精検受診率を検診受診歴別 ^(注1) に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×
(2) 平成29年度の精検未把握率を把握しましたか	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

解説：未把握は、精検受診の有無が分からないもの、及び(精検受診したとしても)精検結果が正確に分からないもの全てを指します

4. 精密検査結果の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 平成29年度のがん発見率を把握しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-1) 平成29年度のがん発見率を性別・年齢階級別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-2) 平成29年度のがん発見率を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-3) 平成29年度のがん発見率を検診機関別に集計しましたか	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	○	×
(1-4) 平成29年度のがん発見率を検診受診歴別注1) に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-5) 平成29年度のがん発見率を検診方法別 (マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用) に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×	△	△
(2) 平成29年度の発見がんに対する早期がん割合を把握しましたか 解説: 肺がんでは臨床病期0~I期のがん割合、乳がんでは臨床病期I期までのがん割合を指します	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
(2-1) 平成29年度の早期がん割合を性別・年齢階級別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	△
(2-2) 平成29年度の早期がん割合を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
(2-3) 平成29年度の早期がん割合を検診機関別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	△
(2-4) 平成29年度の早期がん割合を検診受診歴別注1) に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	△
(2-5) 平成29年度の早期がん割合を検診方法別 (マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用) に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×	△	△
(3) 平成29年度の粘膜内がん (胃がん、大腸がん)・非浸潤がん (乳がん) を区別しましたか	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	△
(4) (子宮頸がん検診) 平成29年度の上皮内病変 (CINなど) 数を区分毎に集計しましたか 解説: 病変は①~④の区分毎に分けて集計すること ① CIN3または上皮内腺がん(AIS)の数 ② CIN2の数 ③ CIN1の数 ④ 腺異形成の数	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×
(4-1) (子宮頸がん検診) 平成29年度の上皮内病変 (CINなど) 数を年齢階級別に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×
(4-2) (子宮頸がん検診) 平成29年度の上皮内病変 (CINなど) 数を市区町村別に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×
(4-3) (子宮頸がん検診) 平成29年度の上皮内病変 (CINなど) 数を検診機関別に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×
(4-4) (子宮頸がん検診) 平成29年度の上皮内病変 (CINなど) 数を検診受診歴別注1) に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×
(5) (子宮頸がん検診) 平成29年度の発見がんに対する微小浸潤がん割合を把握しましたか 解説: 微小浸潤がんは進行度I A期のものを指します	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×
(5-1) (子宮頸がん検診) 平成29年度の微小浸潤がん割合を年齢階級別に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×
(5-2) (子宮頸がん検診) 平成29年度の微小浸潤がん割合を市区町村別に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×
(5-3) (子宮頸がん検診) 平成29年度の微小浸潤がん割合を検診機関別に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×
(5-4) (子宮頸がん検診) 平成29年度の微小浸潤がん割合を検診受診歴別注1) に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×
(6) 平成29年度の陽性反応適中度を把握しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(6-1) 平成29年度の陽性反応適中度を性別・年齢階級別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(6-2) 平成29年度の陽性反応適中度を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(6-3) 平成29年度の陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	○	×
(6-4) 平成29年度の陽性反応適中度を検診受診歴別注1) に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(6-5) 平成29年度の陽性反応適中度を検診方法別 (マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用) に集計しましたか	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×	△	△
(7) 平成29年度の発見がんについて追跡調査を実施しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(7-1) 平成29年度の発見がんの追跡所見・病理所見について把握しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(7-2) 平成29年度の発見がんの予後調査 (生存率・死亡率の分析など) を実施しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

解説: この項目は、現在のがん部会の体制では容易でない都道府県も多いが、がん検診の精度管理という点から言えば本来は必要です

5. 偽陰性例（がん）の把握 検査の実施年度は問いません		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
以下の項目は、現在のがん部会の体制では容易でない都道府県が多いが、がん検診の精度管理という点から言えば本来は必要である						
(1)	（受診者の追跡調査や地域がん登録等により）検診受診後の偽陰性例を把握しましたか 解説： 検診受診時には陰性であったが、その後次回の検診までに、検診以外で発見されたがんを指します（基本的には1年未満に発見された大腸がん・肺がん、2年未満に発見された胃がん・乳がん・子宮頸がん）	×	×	×	×	×
(2)	偽陰性例の把握のために、地域がん登録のデータを活用しましたか 解説： 市区町村から、がん検診の偽陰性例の把握のために地域がん登録データの提供依頼があった際に、提供できる体制があれば○とご回答ください。	×	×	×	×	×
(3)	検診受診後1年以上経過してから発見された大腸がん・肺がん、2年以上経過してから発見された胃がん・乳がん、子宮頸がんを把握しましたか 解説： 住民検診受診後、規定された次回の検診（基本的には、大腸・肺がん検診は1年後、胃・乳・子宮頸がん検診は2年後）を受けずに、検診以外で発見されたがんを指します	×	×	×	×	×

6. 不利益の調査 検査の実施年度は問いません		胃がん (エックス線)	胃がん (内視鏡)	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
以下4項目は次のような方法によって把握が可能である ・厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」の「偶発症の有無別人数」欄に全ての市区町村のデータを集計し ・主要な医療機関（検診や、精密検査を担当する機関）に、検診対象者の検査・治療における偶発症を報告するための依頼文書 ^{注2)} を送付し、その後報告されたものを集計している							
(1)	検診受診後6ヶ月（1年）以内の死亡者を把握しましたか 解説： 検査あるいは治療での偶発症によるもの。ただし、原疾患の悪化によるものは除きます	×	×	×	×	×	×
(2)	精密検査による偶発症を把握しましたか	×	×	×	×	×	×
(2-1)	消化管穿孔例（胃がん）、腸管穿孔例（大腸がん）、精密検査に伴う気胸や感染症（肺がん）、治療が必要な中等度以上の出血例（乳がん・子宮頸がん）を把握しましたか	×	×	×	×	×	×
(2-2)	その他の重要な偶発症を把握しましたか 解説： 入院治療を要するものを指します（例：前投薬起因性ショック、輸血や手術を要する程度の消化管出血、腹膜炎（胃がん、大腸がん）、経皮的肺穿刺や気管支生検による多量出血（肺がん）、検査後の骨盤内感染症（子宮頸がん）、穿刺吸引細胞診や針生検による感染症（乳がん）等）	×	×	×	×	×	×

注1) 初回受診者及び非初回受診者等の受診歴別： 初回受診者の定義は、過去3年に受診歴がない者（胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん）、前年に受診歴がない者（肺がん）
注2) 依頼文書の雛型は「自治体のためのがん検診精度管理支援のページ」<http://nxc.jp/nccscr-commu/>に掲載しています。

続けて、次のワークシート「調査2 事業評価の実施状況に関する調査」にご回答ください。

都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会（各がん部会）の活動状況調査

調査2 事業評価の実施状況に関する調査

7. 生活習慣病検診等管理指導協議会の組織・運営 (令和元年度の実施体制についてご回答ください)		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	
(1)	がん部会は、保健所、医師会、がん検診関連学会に所属する学識経験者、臨床検査技師等の、がん検診に係る専門家によって構成されていますか 解説：全ての関係者が揃っているのが望ましいが、少なくとも医師会の参加が無い場合は×とご回答ください	○	○	○	○	○	
(2)	がん部会は、市区町村が策定した検診実施計画/検診体制等について、検診が円滑に実施されるよう、広域的見地から医師会、検診機関、精密検査機関等と調整を行っていましたか	×	×	×	×	×	
(3)	令和元年度のがん部会を開催しましたか	○	○	○	○	○	
(4)	(3)が○の場合、がん部会は、市区町村や検診機関の精度管理状況を分析・評価し、問題点の把握と改善策の検討を行いましたか 解説：・市区町村(4-1)、検診機関(4-2)別に、がん部会の活動状況をご回答ください ・改善策の検討まで行った場合のみ○とご回答ください(精度管理上特に問題点がなかった場合は、改善策の検討をしていなくても○とご回答ください) ・回答は、集団/個別検診の別は問いません						
		胃がん (エックス線)	胃がん (内視鏡)	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
(4-1)	市区町村の精度管理状況を分析・評価し、問題点の把握と改善策の検討を行いましたか	○	○	○	○	○	○
(4-2)	検診機関の精度管理状況を分析・評価し、問題点の把握と改善策の検討を行いましたか	○	○	○	○	○	○
(5)	年に1回以上、定期的な生活習慣病検診等従事者講習会を開催しましたか 解説：生活習慣病検診等管理指導協議会から委託を受けて外部の機関(例:対がん協会支部など)が行っている場合は○とご回答ください	○	○	○	○	○	○

8. 事業評価に関する検討 (令和元年度に実施されたことに基づいてご回答ください)		胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1)	チェックリスト(令和元年度検診分)に基づく検討を実施しましたか 解説：以下の問(1-1)、(1-2)のうち一つでも○の場合は○とご回答ください	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-1)	個々の市区町村のチェックリスト(令和元年度検診分)について把握・検討しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-2)	個々の検診機関のチェックリスト(令和元年度検診分)について把握・検討しましたか	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	○	×
(2)	要精検率等のプロセス指標(平成29年度検診分)に基づく検討を実施しましたか 解説：以下の問(2-1)～(2-3)のうち一つでも○の場合は○とご回答ください	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2-1)	プロセス指標(平成29年度検診分)について、全国数値との比較や、各市区町村間、検診機関間でのばらつき確認等の検証を実施しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2-2)	プロセス指標(平成29年度検診分)において問題が認められた市区町村から、聞き取り調査等を実施しましたか 解説：当該年度に、聞き取り調査の対象として該当する市区町村がなかった場合にも、調査を行う体制ができていれば○とご回答ください。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2-3)	プロセス指標(平成29年度検診分)において問題が認められた検診機関から、聞き取り調査等を実施しましたか 解説：当該年度に、聞き取り調査の対象として該当する検診機関がなかった場合にも、調査を行う体制ができていれば○とご回答ください。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(3)	チェックリスト(令和元年度検診分)やプロセス指標(平成29年度検診分)において問題が認められた検診機関に対して、実地による調査・指導等を実施しましたか 解説：聞き取り調査だけで十分改善が期待できる場合には、(十分な改善が期待できない場合実地調査・指導を行う体制ができていれば)実際に実地調査・指導を行ってなくても○とご回答ください。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(4)	実地調査等により不適正な検診機関が認められた場合には、市区町村に対して委託先の変更を助言するなど、適切に対応しましたか 解説：当該年度に、不適正な検診機関として該当する検診機関がなかった場合にも、助言を体制ができていれば○とご回答ください	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

9. 事業評価の結果に基づく指導・助言 (令和元年度に実施されたことに基づいてご回答ください)	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 事業評価の結果に基づき、指導・助言等を実施しましたか 解説：以下の問(1-1)、(1-2)のうち一つでも○の場合は○とご回答ください	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×
(1-1) 事業評価の結果を報告書に取りまとめ、市区町村や検診機関に配布しましたか 解説：市区町村、検診機関の両方について実施した場合に○とご回答ください	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×
(1-2) 事業評価の結果について、市区町村や検診機関に対する説明会を開催しましたか 解説：市区町村、検診機関の両方について実施した場合に○とご回答ください	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×
(2) 事業評価の結果に基づき、市区町村や検診機関に対して個別の指導・助言を実施しましたか 解説：当該年度に、事業評価の結果、指導・助言の対象がなかった場合でも、個別に指導・助言をする体制があれば○とご回答ください	○	×	○	×	○	×	○		○	×	○	×

10. 事業評価の結果の公表 (令和元年度に実施されたことに基づいてご回答ください)	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 何らかの事業評価の結果を、個別の市区町村や検診機関の状況も含めてホームページで公表しましたか	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○